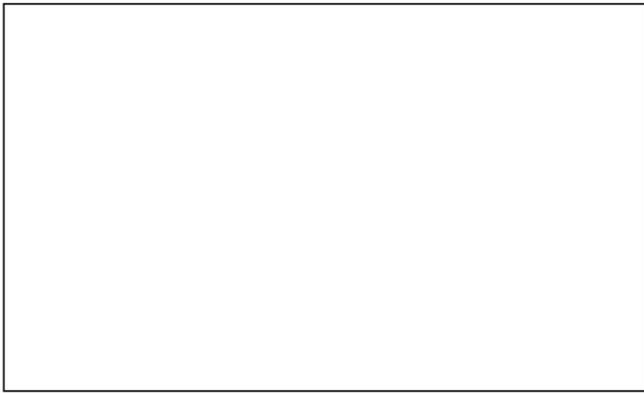




まちを支える。ひとに寄りそう。
SAGAWA
タウンサポート



まちを支える。ひとに寄りそう。
SAGAWA
タウンサポート
地域に密着した取り組み・サービスのご案内



佐川急便株式会社
<https://www.sagawa-exp.co.jp/>

官民一体で地域社会を支える

近年の地震や豪雨・台風による自然災害、新型コロナウイルスの影響、
 少子高齢化の急速な進行による過疎化など、地域社会を取り巻く環境は大きく変化しております。
 自治体の皆さまは前例のない課題対応に苦慮されていることかと思います。
 当社は、被災地への支援物資輸送やふるさと納税の返礼品出荷サポートなど、
 官民一体となって地域社会の課題を解決する支援やサービスを展開しています。
 今後も地域の課題に対して当社の培ったノウハウを活かし、
 自治体の皆さまとともに新たな解決策を模索していければ幸いです。



代表取締役社長
 本村 正秀

地方自治体と連携して地域課題を解決



震災被害から復興を
 遂げた宮城県にて

CONTENTS

SAGAWAのタウンサポート	02
ふるさと納税支援	03
農水産業支援／海外向け支援	04
地域交通活性化／買い物支援	05
観光振興／イベント運営支援／交通安全支援／見守り支援	06
医療支援／公共施設移転	07
教育支援／自治体業務支援	08
災害支援：地域に寄り添い、支え合う	09
救援物資輸送事例紹介	12

まちを支える。ひとに寄りそう。
SAGAWA
 タウンサポート

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SAGAWAのタウンサポートは、官民連携を通して
 地域が抱える課題を解決するとともに、地域社会の
 SDGs達成にも貢献します。

SDGs
 (エス・ディー・ジーズ)とは？
 SDGsとは、「未来まで安心して
 豊かな生活を送ることができる
 世界」を目指して、国連サミット
 で決まった2030年までの世界的
 な目標です。環境や貧困など、
 幅広い17のゴールと169の
 ターゲットで構成されています。



官民連携で地域課題に取り組む！

SAGAWAのタウンサポート

自治体と佐川急便が官民一体となって取り組むことで、地域が抱えるさまざまな課題に対して、適切なソリューションを生み出すことが可能となります。



SAGAWAの活動事例

下に挙げるように、地域課題に対するソリューションを生み出してきました。※一部は準備段階

ふるさと納税支援	農水産業支援	海外向け支援	地域交通活性化	買い物支援	観光振興	イベント運営支援
交通安全支援	見守り支援	医療支援	公共施設移転	教育支援	自治体業務支援	災害支援

次のページからこれまでの実績も含めて紹介します。

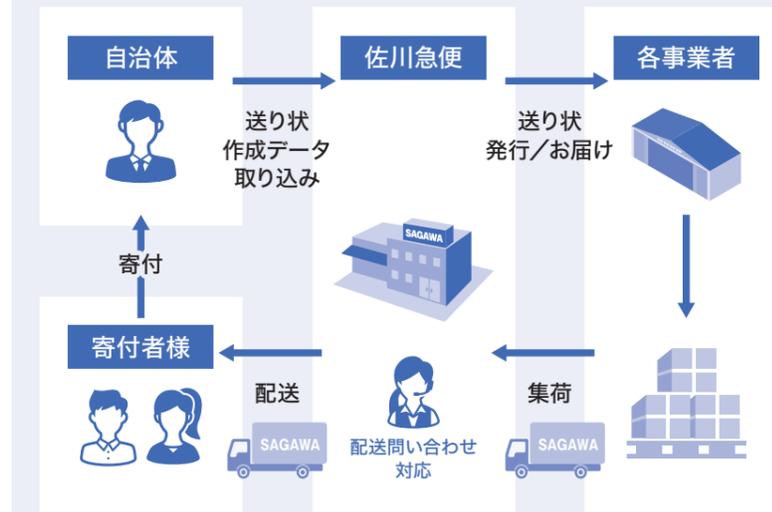


ふるさと納税を活性化

地域の魅力を伝え、経済効果を生み出す「ふるさと納税」。輸送に留まらず、セールスプロモーションの領域までトータルサポートいたします。

課題	ソリューション
ふるさと納税の訴求力を高め、地域の魅力を発信したい	<ul style="list-style-type: none"> ● 返礼品の集荷から配送までの一貫オペレーションをサポート ● 寄付者様からのお問い合わせに対し、コールセンターを設置し対応 ● ロゴやオリジナル梱包資材作成などセールスプロモーションをサポート

ふるさと納税運用支援サービスフロー



ふるさと納税の返礼品送付に関わる業務をサポートします

担当者より



チームGOAL*
外山 恵美

私が担当する九州各地の自治体ご担当者様より、返礼品のご出荷、お届けに関しましてさまざまなご相談を頂きました。その都度私たちはグループ企業も含めこれまでに培った物流のノウハウを活かし、的確に課題解決のご提案を重ねて参りました。

このような情報は全国で共有しており、類似の課題については実績としてご紹介が可能です。何かお困りの事がございましたら、お気軽に弊社スタッフにお声掛けください。

ソリューションの一例



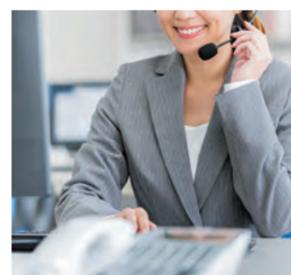
送り状代行出力

送り状(荷札)を佐川急便が出力、事業者様ごとに仕分けして個別にお届けします



梱包・出荷作業

返礼品の梱包、送り状貼付、出荷などの物流加工業務も対応



コールセンター

返礼品の配送に関する寄付者様からのお問い合わせに対応し、自治体の負担を軽減



セールスプロモーション

梱包資材やパンフレットなど自治体のご要望に合わせたイメージでデザインから対応



地域の一次産業を応援

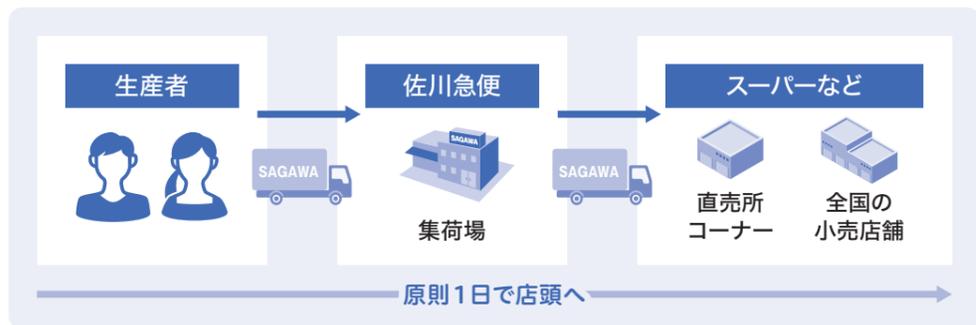
地域振興の礎となる、一次産業の活性化。農水産品の安全な輸送から、全国に向けた販路の拡大まで、佐川急便ならではの総合力でサポートします。

課題	ソリューション
一次産業活性化のため地域の農水産品の販路を拡大したい	<ul style="list-style-type: none"> 佐川急便の施設を活用し農水産品出荷用の集荷場を設置 農水産品を都市部などの消費地に鮮度を保って輸送

ソリューションの一例



流通プラットフォーム構築
営業所を集積所とし、温度管理された物流インフラで消費地へ



地域交通インフラ×物流

人口減少に直面する地域の交通インフラ活性化や、環境負荷低減につながる貨客混載事業を開始しています。ドローンやロボットでの輸送実用化にも取り組んでいます。

課題	ソリューション
既存の交通インフラを活性化したい	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道車両などの空きスペースを活用し、荷物を輸送する貨客混載事業 離島・山間部にドローンで荷物を配送 ※実証実験中 自動走行ロボットによる荷物配送 ※実証実験中

ソリューションの一例



貨客混載事業
貨物と人の“相乗り”によって、人口減少に直面する地域の交通インフラ活性化、CO₂排出量の削減などのメリットが見込める仕組み

将来の実用化に向けて実証実験中



ドローン配送
香川県小豆郡土庄町、島根県邑智郡美郷町と協同で実証実験



自動走行ロボット
非対面・非接触の配送を可能にするため実験中



地域と世界をつなぐ

グローバル時代において、自治体の国際化戦略は欠かせません。佐川急便が国際物流だけでなく、トータルで提案いたします。

課題	ソリューション
「世界」にもっと地域をアピールしたい	<ul style="list-style-type: none"> 国際物流ネットワークを活用し、海外ビジネスの拡大を支援 (海外向け通販・海外アンテナショップ) 世界の都市との交流をサポート (イベント・展示会・支援物資)

海外向け通販



国際交流



イベント輸送
貴重な品々を開催スケジュールに合わせ、丁寧に確実に配送します



買い物代行の支援

さまざまなご事情で、お買い物に出掛けることが困難になってしまった生活者のために、物流ネットワークを活かしたサポートサービスを官民連携で生み出します。

課題	ソリューション
地域の暮らしから、「買い物ができない」という状況をなくしたい	<ul style="list-style-type: none"> 物流の地域ネットワークを活かし、販売者と生活者の橋渡し 生活者目線で、輸送だけに留まらない「買い物支援」を提案

ソリューションの一例



ネットスーパー
ネットで注文を受け、商品をお届けするスキームを構築

ご提案中の事例



在宅療養者への食料調達～アソート～配送
在宅療養中のため、外出が困難な生活者のために食料(レトルト食品)を調達してお届けします

サービス展開に向けて準備中



買い物代行
買い物が困難な生活者のために、買い物代行を行います



観光支援で地域を活性化

課題

観光産業を活性化し、経済効果を高めたい

ソリューション

● 手荷物預かりや当日配送などにより、“手ぶら観光”を実現

ソリューションの一例



手荷物一時預かり

空港や駅などにカウンターを設置。手荷物をお預かりします



ホテル当日配送

お預かりした手荷物を、その日のうちにホテルへお届けします



空港受取サービス

本サービスに対応した空港で手荷物の受け取りが可能です



多言語対応

スタッフによる多言語対応のほか、デバイスによる通訳も可能



地域イベントを支援

課題

イベントをスムーズに運営したい

ソリューション

● イベントの幅広い領域を一貫対応

ソリューションの一例



京都マラソン

京都マラソンでは、ランナーの手荷物をゴールまで輸送



マラソン参加者への物品送付

イベント中止の際、参加者にTシャツやゼッケン・名産品を送付



青森ねぶた祭

観光客の窓口となるJR青森駅に手荷物預かりカウンターを設置



販促品制作

パンフレットやノベルティなど、企画・デザインから対応します



地域の安全を守る



交通安全教室

子どもたちの安全意識を高める目的で開催。2019年度は、全国で607回実施し、61,122名もの方々が参加しました



地域の見守りをサポート

物流インフラを地域の安全に活用

道路の異常や不法投棄、また郵便物がたまったポストなどを見つけた際など、自治体へ報告することで、地域の安全も見守っています



地域医療の安心をサポート

近年、喫緊の課題として重要度が高まる、地域の医療体制の充実化。高度な専門性を有するメディカル輸送のノウハウを活かし、物流面でサポートいたします。

課題

医療体制を拡充し地域の安心を高めたい

ソリューション

● 新型コロナウイルスのワクチン輸送や、資材の手配を実施
● 宅配のスキームを活用し、高齢者の見守り、ケア用品や調剤薬の配送を実現

ソリューションの一例



ワクチン輸送

270の自治体からワクチン輸送や資材の手配などを受託



地域包括ケアシステム支援

宮城県庁、柏市よりコロナ療養者向け食品・日用品・パルスオキシメーターの配送業務を受託。非対面での配送を実施



調剤薬輸送

日本調剤様、スギ薬局様、イオン薬局様の薬局で調剤されたお薬を患者様ご自宅へ配送



公共施設の移転をサポート

公共施設の移転をトータルでサポート。オフィスビルなどの丸ごと移転のノウハウを活かして、自治体の庁舎や美術館などの移転を行います（美術品輸送、その他備品・事務用品の一時保管）。

課題

公共施設の移転業務を一括で任せたい

ソリューション

● 移転先のレイアウト図面作成など移転業務の設計からサポート
● 移転作業実施計画書（マイルストーン）に基づく綿密な工程管理
● 什器の組立・解体・廃棄はもちろん、新規什器の手配にも対応

移転の主な流れ





教育環境のICT化を支援

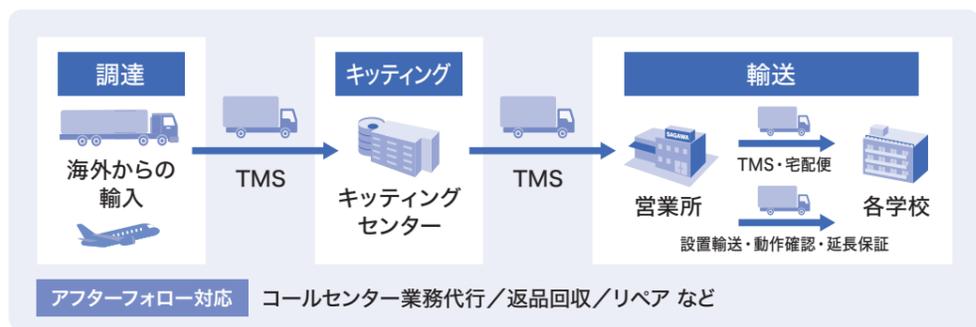
文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」では、ICT機器の輸送・設置・保守対応など、多岐に渡る業務が発生します。佐川急便がグループ企業と連携しお手伝いいたします。

課題	ソリューション
学校へのICT機器導入をスムーズに行いたい	<ul style="list-style-type: none"> 海外からの輸入、輸送はもちろん、端末の設定（キitting）、学校への設置までワンストップで対応 トラブル発生時の返品回収、リペア業務、コールセンター業務などのアフターフォローにも対応

サポート例



GIGAスマート・サポート
「GIGAスクール構想」の推進を、物流×ITの両面でサポート。



地域に寄り添い、支え合う

SAGAWAのBCP対策

当社は事業継続に積極的に取り組む姿勢が評価され、内閣官房国土強靱化推進室が創設した「レジリエンス認証」を取得しています。さらに、2020年には防災・減災に積極的に取り組む企業などを評価する「3つ星レジリエンスカンパニー」の第1号認定を受けております。



※事業継続に積極的に取り組む企業を評価、認証する制度

佐川急便のBCP対策の一例

全社を挙げて訓練を行うなどBCP対策に力を入れています。



非常用電源車



大規模災害対応訓練



緊急災害時用燃料油ポンプ（足こぎ式）の導入

自治体との協定

当社は、地域課題の解決に寄与するため、全国の自治体と下記のような協定を締結しております。 ※2022年5月31日現在



協定締結自治体との災害時支援物資輸送訓練

包括連携協定	見守り協定	災害協定
都道府県	自治体・団体	自治体・企業等
21自治体	125件	179件
市町村		
25自治体		



事務業務を最先端のIT技術で効率化

膨大な帳票類の電子化処理や保管といった、事務の付帯業務による大きな負担を軽減。AIを活用した最新のIT技術と物流を融合させ、サポートいたします。

課題	ソリューション
事務業務を効率化しコア業務に集中したい	<ul style="list-style-type: none"> AIを活用したOCR技術で帳票入力等を効率化 書類の回収、電子化、保管・廃棄までワンストップで対応

ソリューションの一例



災害物流のコンサルティングもお任せください

<p>防災訓練</p> <p>企画支援</p>	<p>防災備蓄品</p> <p>手配 運用・管理</p>	<p>拠点検証</p> <p>検証・評価</p>
防災訓練の企画支援・検証・評価	防災備蓄品の運用・管理の改善	支援物資拠点の検証・評価

地域社会に対して、物流企業が果たすべき役割。度重なる自然災害を経験する中で、その真価は常に問われ続けています。私たち佐川急便は、大切な社会インフラである物流を支える事業者として、地域の皆さまの「安心」「安全」に貢献するべく、有事における災害支援活動に取り組んでいます。

1995年1月

阪神・淡路大震災

発生当時戦後最大の大惨事とされた阪神・淡路大震災。この時の経験が、佐川急便の災害支援活動の礎となりました。



救援物資輸送の様様



駅を臨時の集積場として活用



物資を積んで走るトラック



ヘリコプターで物資をピストン輸送

2011年3月

東日本大震災

支援要請元
日本政府の緊急 災害対策本部



自衛隊の先導を受け、被災地に向かう当社の救援部隊



救援物資輸送の様様

詳しくは
12ページへ

2016年4月

熊本地震

支援要請元
熊本県・熊本市



全国から集まった救援物資(中央区)



いち早く再開した営業所受取サービス

詳しくは
12ページへ

九州北部豪雨

支援要請元
朝倉市役所(福岡県)



グループ各社が連携して救援物資輸送を実施しました

2017年7月

西日本豪雨

支援要請元
三原市役所(広島県)



グループの力を結集し、物資の入荷から保管、配送までサポート



2018年7月

房総半島台風 (台風15号) 東日本台風 (同19号)

支援要請元
千葉県・宮城県丸森町



避難所へ大量の救援物資を届けました(千葉県)



丸森町では避難所へ食料などを配送(宮城県)

2019年9月~10月

伊豆山土砂災害

支援要請元
熱海市役所(静岡県)

詳しくは
13ページへ



ここでも、佐川急便一社だけではなく、専門性を持つグループ各事業会社の力を集結し対応



東日本大震災

2011年3月～



東日本大震災では、ライフラインを担う物流網も壊滅的な被害を受けました。佐川急便では即日災害対策本部を設置し、発生2日目にはトラック100台からなる救援部隊を派遣。輸送網の迅速な復旧に取り組み、2週間以内に全国の輸送網を再開させました（一部地域を除く）。さらに、石巻市、東松島市、女川町からの支援要請を受け、274の避難所に対する救援物資配送を展開。7月からは、石巻市の要請に基づき、自衛隊撤収後の救援物資管理業務も担いました。

スピード感を持った事業再開

<p>3月11日 (金)</p> <p>京都本社および当時の本社東京本部に、災害対策本部を設置。</p>	<p>3月13日 (日)</p> <p>当時の関東支社から、トラック100台、200人の救援部隊を派遣。</p>	<p>3月17日 (木)</p> <p>青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県で、「営業店止めサービス（当時）」を再開。</p>	<p>3月18日 (金)</p> <p>福島県で「営業店止めサービス」を再開。</p>	<p>3月22日 (火)</p> <p>青森県、秋田県、山形県で集配を再開。いわき店、相馬店で「営業店止めサービス」を再開。</p>	<p>3月24日 (木)</p> <p>被災地の一部エリアで集荷・配達を再開。全国の輸送網を復旧させる（一部地域を除く）。</p>
-------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------

熊本地震

2016年4月～



震災発生直後、災害対策本部を設置。日本政府緊急災害対策本部および熊本県、熊本市からの要請を受け、緊急支援物資の輸送とともに、各避難所に対する物資の配送を行いました。また、現地での営業所受取サービスをいち早く再開するとともに、小売事業者との連携により、被災地の店舗に向けた生活物資の輸送を行い、生活インフラの迅速な正常化に努めました。

「営業所受取サービス」をいち早く再開

営業所の機能を迅速に復旧させ、全国からの救援物資を受け入れました。

救援物資の輸送・仕分け

熊本市の要請で自衛隊と連携し、市内物資拠点から市内全域の避難所への輸送を担いました。熊本県の要請では、衛生用品を中心に県内の市町村物資拠点への輸送を実施しました。

他業種との連携で生活インフラの正常化へ

経済産業省の許可の元、小売事業者と連携し、被災地の店舗に向けて物資の迅速な輸送を行いました。

伊豆山土砂災害

2021年7月～



2021年7月3日(土)、記録的な豪雨により発生した「令和3年7月伊豆山土砂災害」のため、甚大な被害を受けた静岡県熱海市伊豆山地区。熱海市より災害救援物資輸送の依頼を受け、物資の保管・管理、避難所への物資輸送などを行いました。

熱海市の課題

- 1 市に寄せられる支援物資の保管場所を確保できず受け付けを停止
- 2 災害発生後の避難先から新たな避難所へ数百名分の荷物を移動したい
- 3 避難所への救援物資輸送を一括して任せたい

課題解決フロー

●作業 1. 物資移動

●作業 2. 被災者荷物の移動

●熱海市災害支援物資輸送等 業務フロー図

佐川急便
救援物資輸送

SGムービング
救援物資や被災者の荷物の移動

佐川グローバルロジスティクス
倉庫内での救援物資受入・保管・管理

SGシステム
コールセンター

熱海市ご担当者様より

今回の災害は、本市にとって経験したことのない大規模な災害であり、支援物資の受け入れも初めて経験するものでした。発災直後には事前の連絡も無く大量の物資が途切れなく毎日届き、用意した保管場所も数日で満杯状態、物資の管理もままならず担当部署以外からも応援の人員を投入したにも関わらず混乱を極めました。そのような中、物資の管理・保管、避

難所への物資輸送をパッケージで請け負っていただいたことで、その他緊急を要する災害対応業務へ人員を投入することも可能となり本当に助かりました。さらに付け加えるならば、過去の経験に裏付けられた迅速な対応、災害救助法の適用範囲のアドバイスなど、本市にとって大きな支援をいただきました。

熱海市 経営企画部 次長 小林 太様